

第35週の発生動向(2007/8/27~2007/9/2)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、上十三保健所管内において第34週から**警報**が継続しています。
3. ヘルパンギーナについては、上十三保健所及びむつ保健所管内において第34週から、東地方+青森市保健所管内では第27週から**警報**が継続しています。

第35週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

保健所名 疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0				
(72) RSウイルス感染症															0				
(73) 咽頭結膜熱	8	0.89	1	0.11					2	0.33	2	0.50	13	0.31	2	2	2.00	6	0.75
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.44	13	1.44	2	0.22			3	0.50	11	2.75	33	0.79	9			4	0.50
(75) 感染性胃腸炎	29	3.22	11	1.22	5	0.56	2	0.40	5	0.83	9	2.25	61	1.45	2	14	14.00	15	1.88
(76) 水痘	3	0.33			1	0.11			3	0.50	3	0.75	10	0.24	-3			3	0.38
(77) 手足口病	17	1.89	11	1.22	9	1.00	17	3.40	39	6.50	6	1.50	99	2.36	18	1	1.00	16	2.00
(78) 伝染性紅斑	1	0.11			1	0.11			2	0.33	1	0.25	5	0.12	-1			1	0.13
(79) 突発性発疹	4	0.44	5	0.56	5	0.56	1	0.20	6	1.00	5	1.25	26	0.62	-11			4	0.50
(80) 百日咳			1	0.11									1	0.02	1				
(81) 風しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	41	4.56	38	4.22	5	0.56	11	2.20	68	11.33	45	11.25	208	4.95	21	14	14.00	27	3.38
(83) 麻疹(成人を除く)															-1				
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.33	4	0.44	3	0.33	1	0.20	4	0.67	1	0.25	16	0.38	-4			3	0.38
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎															-5				
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00					1	1.00	3	0.50	1				

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
東地方	2	1	1	0
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
青森市	12	8	4	2
合計	65	42	23	11

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患):弘前保健所1人 (19年計:107人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):弘前1人、上十三1人、むつ1人、青森市2人 (19年計:24人)

感染症の窓

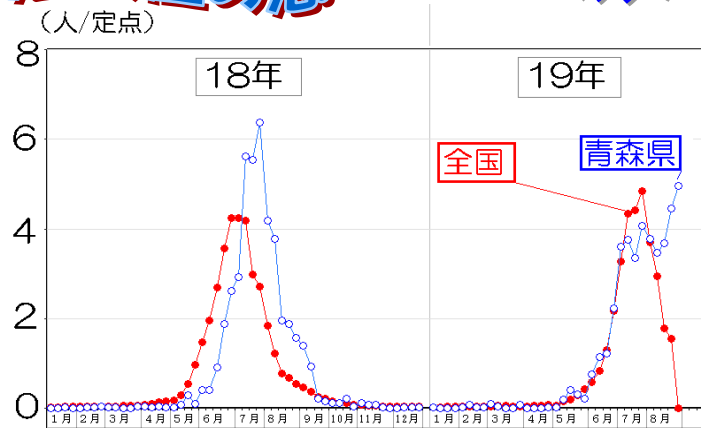


図1 過去2年間の全国と青森県における発生状況

ヘルパンギーナ

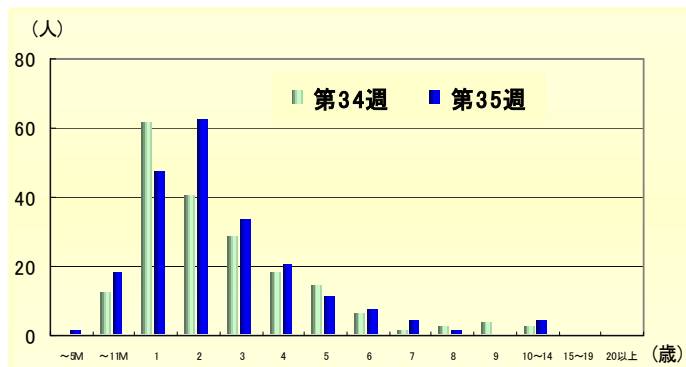


図2 年齢別構成(第34週-35週)

本年の青森県における届出数は、7月には全国値を下回る報告数で推移していましたが、8月初旬から急増し、県内3保健所管内で、**警報**が出されています(図1、表)。保健所管内別では、上十三保健所管内、次いでむつ保健所管内が多い報告数で、弘前保健所管内では警報は出されていませんが、前週に比べ、約2倍に増加しています。好発年齢は4歳以下とされています。本県においても、1歳から2歳にかけて最も多い報告数となっています(図2)。ヘルパンギーナは**ウイルス性疾患**で、**飛沫**や**経口**により感染することから、**手洗い**や**うがいの励行**が必要です。